

【前回いただいた意見に対する検討結果】

【意見 1】

第 3 条第 2 項に「障害等の有無にかかわらず」との文言があるが、障がいのある子どもを持つ保護者の立場からはデリケートな問題でもあり、この文言が無くても条文の意味は通じると思われるため、削除してはどうか。

【検討結果】

この文言が無くとも本条文の趣旨が変わらないことから、削除することとする。

【意見 2】

文化・芸術活動に参加する権利も盛り込むべきではないか。

【検討結果】

児童の権利に関する条約第 31 条に「休息・余暇、遊び、文化的・芸術的生活への参加」の規定があり、その中で、文化的・生活及び芸術に自由に参加する権利を規定しているため、改めて条例に規定はしないこととする。

【意見 3】

児童の権利に関する条約自体が浸透していないことから、子どもの権利がどのようなものかを端的に条例に明記するべきではないか。

【検討結果】

本市の条例形式の標準的な表現、他市条例の制定形式を再度、検討した結果、現行の表現が望ましいことから原案のままとしたい。

なお、子どもの権利については既に条約で定められており、改めて条例に規定はしないが、条例の解説等における説明や条例に関するウェブページを作成する際に、ユニセフのページを併せて紹介するなど、条例の周知とともに条約の周知に努めたい。